

※ 解答は、《解答らん》に書きましよう。

次の A、B の新聞記事は、同じ人物について書かれています。田中さんたちは、二つの記事を読み比べて、【二ページ】のように話し合いました。これらを読んで、あとの問いに答えましよう。

A

三日後に宇和島市で開かれる全日本大学選抜相撲宇和島大会に、愛媛県内の大学から初めて松山大学二年生の山本広さん（仮名）が出場する。相撲を始めて一年あまりで全国の強敵にどむ。

山本さんは、「小さい力士が大きい力士をたおすのが楽しい。」と語る。身長一八〇センチ、体重八十キロと、全国大会に出場する選手としては小さな体格だ。その分、素早い動きで勝ちをねらう。

新居浜市出身で中学時代は陸上の選手。中学三年生のとき、初めて大相撲をテレビで見て力士の運動能力の高さにおどろいた。特に、小がらな日馬富士関（現、横綱、当時は安馬関）の相撲に引きつけられた。

とはいえ、新居浜には相撲道場がなく、地元の高校時代はテレビを見て相撲界にあこがれる日々。大相撲の年間六場所はほぼ欠かさずチェックし、大阪場所にも足を運んだ。大学進学で松山に引越したことをきっかけに、「待つてました。」と道場の門をたたいた。

松山市の相撲道場で週二日、基本を中心に汗を流す。一年で体重は約十キロ増え、昨年十一月に西予市で開かれた乙亥大相撲では、自分より大きいアマチュア力士二人に勝利し、成長への自信を深めた。

道場の先生はけがをしないか気づかいつつ、「新しい道を切り開くちよう戦」と背中をおす。山本さんは「自分の力を試し、松山大に相撲部をつくる足がかりにしたい。」と真新しいゼッケンをまわしに付け、①金星をねらう。

【二ページ】

B

なみだの理由が新せんだった。今年、三十回目をむかえた全日本大学選抜相撲宇和島大会。県内大学から初出場した松山大の小さな力士が初戦で寄り切られ、②士がついた。なみだを流したのは、強い相手とはいえ、敗戦のくやしきからだろう。そう考えていると、返ってきたのは、「こんな僕へのかん声が聞こえた。(力士として)認めてもらえてうれしかった。」の言葉。負けてうれし泣きする選手に会ったのは初めてだった。

相撲にあこがれ、まったくの未経験から大学入学後、約一年のけいこでいどんだ初の公式戦。土俵入りの際は、地元の相撲ファンからはく手がわき、名前をよぶ応援が数度会場にひびいた。相撲ではありがちな光景かもしれないが、彼にとっては大きな意味があった。

けいこを積む相撲道場の先生から、大会前に聞いた言葉が思い出された。

「四年で一勝を目指す。そういうスポーツの楽しみ方もあるでしょう。」

大会での生き生きとした動きやじゆう実した表情が、その言葉の説得力を何倍にもした。

③選手がスポーツに求めるものは、一つではないことを思い知らされた。今まで自分がたよりがちだった「勝った」、「負けた」だけのものさしが小さく見えた。

【話し合い】

田中 AとBの文章は、同じ人物について書いているのに、まったく印象がちがいます。書き方のちがいや工夫しているところをさがしましょう。

三木 二つの記事を比べると、(ア)の記事は、読み手を引きつける書き出しになっていると思います。

白石 私は、(イ)の記事の方が「いつ、どこで、だれが、何をする」ということがはっきりと書かれていると思います。

青木 ぼくは、(ウ)の記事は、出来事だけでなく、おどろきや感動など、書き手の思いをたくさん書いていて、ずい筆(エッセイ)に近い文章だと感じました。

1 【話し合い】の()アからウに当てはまる記事として最もふさわしいものは、A、Bのどちらでしょうか。記号で書きましょう。

【三ページ】

二 記事Aの——線部①「金星」、記事Bの——線部②「土がつく」は、それぞれ相撲がきつかけでできた言葉とされています。

1 それぞれの意味として最もふさわしいものを、次のアからオまでの中から一つずつ選んで、記号で書きましよう。

- ア 勝てないと思う相手に勝つこと
- イ 何度も勝ちを重ねること
- ウ 注目されること
- エ 負けること
- オ 休むこと

2 例を参考に、あとの□内の文字をならぶかえて、相撲がきつかけでできたと思われる言葉を完成させ、ひらがなで書きましよう。

例 ず・り・と・う・ひ・も → ひとりずもら

う・ぎ・じ・わ・ひよ

三 記事Bの——線部③「選手がスポーツに求めるものは、一つではない」について、それまで書き手が考えていた「選手がスポーツに求めるもの」とは、どんなものですか。十字以内で書きましよう。

シート 3 解答らん										第 学年 組 番 名前										
一																				
二	ア	□				イ	□				ウ	□								
1	①	□				②	□													
2	□																			
三	□										□									

【四く一】

シート 3 正答例

一 ア B イ A ウ B

二 1 ① ア ② エ

2 どひようぎわ

三 勝つか、負けるか 勝ち負け 勝敗 等



かなひらきば
へんしんきまき

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 自転車の事故に注意する。
- 2 最強チームを率いる。
- 3 先生の許可をもらう。
- 4 高い評価を受ける。
- 5 仮説を唱える。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 ボールにあつりよくをかける。
- 2 妹に本をかす。
- 3 海のそばにお城^ちをきずく。
- 4 役をえんじる。
- 5 雲間から太陽があらわれる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「故」の読みを表す部分は「古」だよ。
- 2 「ひ〇(いる)」と読むよ。
- 3 「入室許可」だと「部屋の中に入ることをゆるす」ということだよ。
- 4 よい「評価」だとうれしだね。「評」は「好評」と、「価」は「価値」と同じ読みだよ。
- 5 「仮」の訓読みは「かり」だけど、ここでは一文字消えてしまっよ。
- 二 1 「あつりよく」は、「ちからを加えて、おさえつけること」だよ。
- 2 「借りる」とまちがえないように。
- 3 音読みは「ちく」で、「建ちく」とも使うよ。
- 4 「こうえんかい」や「しゅつえん」の「えん」と同じ漢字だよ。
- 5 「すがたをあらわすこと」だよ。「表」と書いてはいけないよ。

たくさん覚えてきたね。



ひらがなときば
(ヒント) を見よう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 係の目標を提案する。
- 2 損失が大きい。
- 3 毛糸でマフラーを編む。
- 4 花畑を版画で表現する。
- 5 政治に関心をもつ。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 デザートがあまり。
- 2 出発時間をたしかめる。
- 3 家で漢字のふくしゅうをする。
- 4 すぎ去った日々がなつかしい。
- 5 大通りで店をいとなむ。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「堤」は「掘ほう」と同じ読みだよ。
- 2 「損」は、「損して得とれ」ということわざの読み方と同じだよ。
- 3 「編み物」と言うよね。「記事などを集めて本を作る」ことも「編む」と言うよ。
- 4 ちょうこく刀でほった作品だね。「出版」という場合は、読みが少しちがうよ。
- 5 日本の「政治」の責任者は、内閣総理大臣だよ。
- 二 1 音読みは「よぶん」の「よ」だよ。
- 2 「たしか(める)」ことを「かくにん(する)」とも言うよね。
- 3 「ふく」は「かいふく」、「おうふく」と同じ漢字だよ。
- 4 「現在より前」のことを「かこ」と言うよ。
- 5 「二十四時間えいぎよう」の「えい」と同じ漢字だよ。



かながなとまは
(ヒント) を見よう。

第 学 年 組 番 名 前

Ⅰ 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 格別(かくべつ)においしい料理。
- 2 いつも基本(きほん)を大切にする。
- 3 衛星(えいせい)放送で観戦(くわんせん)する。
- 4 動物(どうぶつ)を保護(ぼくご)する。
- 5 禁句(きんく)を口にする。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 気候(きこう)にてきた野菜を育てる。
- 2 ゆたかな心をもつ。
- 3 畑(はたけ)をたがやす。
- 4 鳥(とり)のたいぐん(たいぐん)が空をまう。
- 5 危険(きけん)にそなえる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- Ⅰ 1 「格」は「性格」や「人格」と同じ読みだよ。
- 2 「基」は「基地」と同じ読みだよ。何をするにも「基本」が大事だよ。
- 3 「人工衛星」「気象衛星」と同じ読みだよ。「衛生」も同じ読みだけど、意味がちがうよ。
- 4 世界には、絶滅(ぜつめつ)しそうな動物がたくさんいて、「保護」されているよね。
- 5 「言ってはいけない言葉」のことで、「禁」は「禁止」と同じ読みだよ。
- Ⅱ 1 「敵」の部首を「しんによう」に変えると「てき(する)」になるよ。
- 2 「たくさんあること」を表す「ほうふ」の「ほう」と同じ漢字だよ。
- 3 総画数は十画で、横画が全部で五本使われているよ。
- 4 「ぐん」は「〇〇くん」の「くん」と「ひつじ」の組み合わせだよ。
- 5 「じゅんび」の「び」と同じ漢字だよ。



かなひらきま
へんと書きます。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 身動きできない状態になる。
- 2 多くの人が寄付をする。
- 3 規則性に気づく。
- 4 賞を授ける。
- 5 接続語を使う。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 無実をしょうめいする。
- 2 学校生活になれる。
- 3 友達を家にまねく。
- 4 となりの部屋にいすをうつす。
- 5 薬がきいて痛みがなくなる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「状」は「賞状」と、「態」は「態度」と同じ読みだよ。
- 2 お金や物を「寄付」すると喜ばれるよね。
- 3 「規則」は「きまり」のことだね。
- 4 「さ○(ける)」と読むよ。「受(ける)」の反対の行動だよ。
- 5 「接」は「直接」と同じ読みだよ。
- 二 1 「しょう」は、「こんぶん」と「ただし」の組み合わせだよ。
- 2 「生活習かん」の「かん」で、部首は「りっしんぶん」だよ。
- 3 「てくん」と「かたな」と「くち」の組み合わせだよ。
- 4 「のぎくん」と「おおい」の組み合わせだよ。
- 5 音読みは「こう」で、「こう果」「こう能」と同じ漢字だよ。



かながなとき
へいごをよもう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 質素な生活を送る。
- 2 大きな責任を負って働く。
- 3 流れに逆らって進む。
- 4 成績が上がるとうれしい。
- 5 読書に夢中になる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 木をもやす。
- 2 体験したことをほうこくする。
- 3 持ち物がしだいにふえる。
- 4 休日げんていのパンを食べる。
- 5 昔の生活をそうぞうする。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「質」は「品質」の読みとはちがつて、つまる音「つ」に変化するよ。
- 2 同じ音読みで、同じ部分をもつ漢字に、「体積」「成績」があるよ。
- 3 「き〇(らう)」と読むよ。
- 4 「せ〇〇〇」と読むよ。よく「成績」と書きまちがえるよね。
- 5 「夢」の訓読みは「ゆめ」だけど、これは音読みしよう。
- 二 1 「しせん」の「せん」に「ひくん」が組み合わさると「も(やす)」になるんだね。
- 2 「ほう」は、「つうほう」と、「こく」は「つ(げる)」と同じ漢字だよ。
- 3 数が多くなることだよ。「持ち物がしだいにます」とも言うよ。
- 4 「げん」は「むげん」と同じ漢字だよ。
- 5 「創造」ではなく、「見えないことなどを心の中で思いうかべる」ことだよ。

漢字ふりかえりシート 31 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 じこ 2 ひき 3 きよか 4 ひょうか 5 かせつ
二 1 圧力 2 貸 3 築 4 演 5 現

漢字ふりかえりシート 32 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 ていあん 2 そんしつ 3 あ 4 はんが 5 せいじ
二 1 余 2 確 3 復習 4 過 5 営

漢字ふりかえりシート 33 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 かくべつ 2 きほん 3 えいせい 4 ぼし 5 きんく
二 1 適 2 豊 3 耕 4 大群 5 備

漢字ふりかえりシート 34 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 じょうたい 2 きふ 3 きそく 4 さず 5 せつぞく
二 1 証明 2 慣 3 招 4 移 5 効

漢字ふりかえりシート 35 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 しつそ 2 せきにん 3 さか 4 せいせき 5 おちゅう
二 1 燃 2 報告 3 増 4 限定 5 想像